

<b>銅水和剤</b> <b>コサイド3000</b>	<b>取扱メーカー：</b> クミカ、三井アグロ、ホクサン、丸和 <b>原体メーカー：</b> ——
<b>成分：</b> 水酸化第二銅〔銅〕……………46.1% (銅として……………30.0%)	<b>性状：</b> 暗青緑色水和性微粒及び粗粉 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 化学的に安定で広範囲の病害防除に有効である。
- ドライフロアブル製剤で流動性がよく計量しやすい。
- 殺菌活性を持つ銅イオンの溶出度が優れているため、安定した防除効果を示す。
- 「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」で農業使用成分数にカウントされない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 炭酸カルシウム水和剤の加用が葉害軽減に有効であるが、収穫間際の使用は汚れを生じるので留意する。
- ぶどうに使用する場合、後期（果実肥大期以降）の散布は、果房の汚れを生じるので、有機栽培では袋がけ前の散布はさける。また無袋栽培ではこの時期以降収穫まで使用しない。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 木酢液などは混ぜない。
- ぶどう、おうとう、りんご、いちじくに使用する場合、葉害を生じるおそれがあるので、必ず炭酸カルシウム水和剤を加用する。
- りんごに使用する場合、サビ果が多くなるおそれがあるので落花直後から落花後30日頃までは使用しない。
- もも、ネクタリンに使用する場合、収穫後から落葉までは2000倍で散布し、開花前には1000倍で散布する。なお、収穫後の散布では葉害を生じるおそれがあるので、必ず炭酸カルシウム水和剤を加用する。

- キウイフルーツに使用する場合、葉害を生じるおそれがあるので、次の事項に十分留意する。

○発芽期以降は炭酸カルシウム水和剤を加用する。果実に汚れを生じるおそれがあるので留意する。

○過度の連用をさける。

○品種によっては葉害を生じることがあるので、事前に確認する等、注意して使用する。

- うめに使用する場合、葉害を生じるおそれがあるので、次の事項に十分注意する。

○発芽期以降は必ず炭酸カルシウム水和剤を加用する。果実に汚れを生じるおそれがあるので留意する。

○過度の連用をさける。

- いんげんまめに使用する場合、幼苗期及び高温時の散布は葉害を生じるおそれがあるのでさける。

- くわいに使用する場合、葉害を生じるおそれがあるので、炭酸カルシウム水和剤を加用する。高温時の散布は葉害を生じるおそれがあるのでさける。

- ばれいしょの種いも浸漬は無萌芽種いもを対象とする。萌芽種いもには葉害を生じるので使用しない。

- 適用作物（かんきつ、ぶどう、おうとう、きゅうり、はくさい、キャベツ、だいこん、カリフラワー、にんにく、ほうれんそうなど）の葉害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

### 【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。

- 甲殻類、藻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。



## 【適用と使用方法】 .....

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	銅を含む農薬の 総使用回数	
ばれいしょ	そうか病	100 倍	—	植付前	—	種いも 瞬間浸漬	—	
	軟腐病 疫病	1000 倍	100 ～ 300 ℓ	—		散布		
ト マ ト ミニトマト	疫病							
だいこん	白さび病							
こんにゃく	葉枯病							
ほうれんそう	べと病 白斑病							
ブロッコリー	花蕾腐敗病							
てんさい	褐斑病							
あずき	褐斑細菌病							
いんげんまめ	かさ枯病							
だいず	斑点細菌病							
いちご	炭疽病 角斑細菌病							
にんじん	黒葉枯病	500 ～ 1000 倍						
たまねぎ	りん片腐敗病	1000 倍						
	軟腐病	1000 ～ 2000 倍						
野 菜 類	軟腐病 黒腐病 斑点細菌病 褐斑細菌病	2000 倍	200 ～ 700 ℓ					—
	茎枯病 斑点病 褐斑病							
アスパラガス	春腐病							
にんにく	葉渋病							
やまのいも	べと病							
ホ ッ プ	斑点細菌病							
しょうぼうずき	ひぶくれ病							
くわい	果実斑点細菌病							
かぼちゃ	赤焼病 もち病 炭疽病 網もち病 褐色円星病 新梢枯死症 (輪斑病菌による)	1000 倍						

作物名	適用病害名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	銅を含む農薬の 総使用回数
びわ びわ（葉）	がんしゅ病	1000 倍	200～ 700 ℓ	－	－	散布	－
いちじく	疫病			発芽前			
かんきつ	かいよう病	2000 倍		生育期			
	黒点病 褐色腐敗病			－			
ぶどう	べと病 さび病			－			
おうとう	褐色せん孔病			収穫後			
りんご	斑点落葉病 すす点病 すす斑病 輪紋病 褐斑病			－			
うめ	かいよう病			硬核期まで※ 葉芽発芽前まで※			
キウイフルーツ				収穫後～ 果実肥大期			
	花腐細菌病			休眠期～ 叢生期 （新梢長 約10cm）			
もも ネクタリン				せん孔細菌病			
パパイヤ	軟腐病	1000 倍		開花前まで			
				－			

※：同一薬剤名（会社名を除き）であっても登録内容が異なる箇所。使用時には必ずラベルで登録内容を確認すること。